

《自由記述欄》写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。
本用紙は追加可能です。

学校茶道との連携・新入会員拡大への取り組み

1/5

～意識調査アンケートの実施～

宮崎青年部
副部長 吉田紋子

これまでの宮崎青年部の取り組み

- ① 宮崎青松会との連携、合同行事の開催
- ② 青年部間交流、文化紹介活動で活動の拡大
- ③ オンライン（Zoom）研修による休眠会員・親OB・他青年部・青松会との交流

これらの活動は
成果が出ている

これまでに連携への取り組みが取れていないのは**学校茶道**
親支部と青年部の連携だけでなく、学校によって方針が異なるため青年部からのアプローチが困難

チャンス!!

そんな中、昨年学校茶道協議会より協力要請が
学校茶道「夏の茶会」のオンライン配信のサポートを青年部

しかし・・・
コロナ感染拡大により中止に

本人たちに
直接聞けば何かわか
るかも!!

青年部のことをもっと
知ってもらいたい!!



茶道のどこに
興味を持って
いる?

コロナ禍でも
一緒にできるこ
とはないか

学生は卒業後
茶道を続けて

どんな行事
なら一緒に



青年部のこと
は知ってる?

令和3年10月 青年部の役員会において
次年度行事計画として学校茶道の学生・生徒を対象に「意識調査アンケート」の実施を提案
吉田主導でアンケート企画実施の承認を得る
せっかくならアンケートだけではなく青年部の紹介もおこなっては?との意見をもらう

支部幹事会の際に、支部役員の先生方、学校茶道連絡協議会の先生方の承認を得る

学校茶道で学ぶ学生・生徒を対象に茶道に対する
「意識調査アンケート」と宮崎青年部紹介パンフレットの配布を実施

《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。
本用紙は追加可能です。

①宮崎青年部紹介パンフレットの作成・配布について



茶道 裏千家淡交会 宮崎青年部

宗家訪問



十五夜祭盃茶



小学生の茶道体験



灰形作り講座



夕涼み茶会



和菓子作り



和菓子作り



古帛紗作り



お茶会

淡交会青年部とは
好きな茶道で世の中の役に立ったり、未だ見ぬ たくさんの人たちと出会えたり、生涯の友を見つかけたり、自己啓発におもいきりうち込んだり、そうかと思うと、深く日本のありように思いをめぐらせたり…。
淡交会青年部は皆さん一人ひとりのなりたい自分になれる場。茶道を通じて、もっともっと積極的に前向きな自分を発見し表現できる場所なのです。
(青年部パンフレット「主人公」より抜粋)

淡交会青年部は、50歳以下の裏千家茶道愛好者を会員とする、わが国固有の青年文化団体です。会員は、「修練・奉仕・友情」を3つの活動の柱として、時代の変化や社会のニーズに柔軟かつ的確に対応しながら、茶道と茶道精神を通じた楽しく有意義な活動を展開しています。

茶道裏千家淡交会宮崎青年部です。
茶道を愛好する会員が集い、お茶会の開催、和菓子づくり、灰形や古帛紗作りの勉強会など様々な活動を楽しみながら行なっています。
コロナ禍となってからは ZOOM を使ったリモート講座を開催。
茶道に通じる事柄についても学べる環境作りをしています。
裏千家淡交会では青年部で学ぶ学生の就職活動支援も行っています。
(文化力応援企業支援制度)
私たちと一緒に学んでみませんか？

《入会資格》
50歳までの裏千家茶道愛好者であれば茶道の許状・資格の有無を問いません。
(淡交会の正副支部長・支部顧問・終身正会員以上の教授者・学校茶道指導者いづれかの推薦を得てください。)

《年会費》
25歳以下 1,000円/年
25歳以上 3,000円/年

詳しくは
裏千家淡交会青年部ホームページ
<http://www.urasenke.or.jp/texto/tan/seinen/index.html>
九州ブロックホームページ
<https://www.urasenke-kyushu.com/>

《問い合わせ先》

上記までご連絡ください。
担当者 吉田紋子

茶道を愛好する会員が集い、お茶会の開催、和菓子づくり、灰形や古帛紗作りの勉強会など様々な活動を楽しみながら行なっています。
コロナ禍となってからはZoomを使ってのオンライン講座を開催。

青年部の活動内容を具体的に簡潔にまとめています

裏千家淡交会では青年部で学ぶ学生の就職活動支援も行っています。
(文化力応援企業支援制度)
私たちと一緒に学んでみませんか？

裏千家の就職支援活動についても紹介しています

《年会費》
25歳以下 1,000円/年
25歳以上 3,000円/年

会費を明記しています

詳しくは
裏千家淡交会青年部ホームページ
<http://www.urasenke.or.jp/texto/tan/seinen/index.html>
九州ブロックホームページ
<https://www.urasenke-kyushu.com/>

紙での配布ではありませんが、HPを記載し興味がある方がアプローチしやすくしています

青年部のことを知ってもらうことに必要なことをコンパクトに詰め込み、青年部の活動内容・楽しさを写真で表

淡交会青年部とは
好きな茶道で世の中の役に立ったり、未だ見ぬ たくさんの人たちと出会えたり、生涯の友を見つかけたり、自己啓発におもいきりうち込んだり、そうかと思うと、深く日本のありように思いをめぐらせたり…。
淡交会青年部は皆さん一人ひとりのなりたい自分になれる場。茶道を通じて、もっともっと積極的に前向きな自分を発見し表現できる場所なのです。
(青年部パンフレット「主人公」より抜粋)

淡交会青年部は、50歳以下の裏千家茶道愛好者を会員とする、わが国固有の青年文化団体です。会員は、「修練・奉仕・友情」を3つの活動の柱として、時代の変化や社会のニーズに柔軟かつ的確に対応しながら、茶道と茶道精神を通じた楽しく有意義な活動を展開しています。

支部幹事長からも青年部のPR活動に力を入れるようご指導いただき、このような紹介パンフレットを親支部の茶会の際に配布させていただくことになりました

《自由記述欄》写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。
本用紙は追加可能です。

②「意識調査アンケート」の取り組みについて

《アンケート対象》

学校茶道で学んでいる
中学生・高校生
大学生・短期大学生

《実施方法》

GoogleのFormsを使って作成
Webアンケートで実施

《Forms活用の利点》

- ・フォーマットがあり簡単にアンケート作成が可能
- ・QRコードを利用しスマホから簡単に入力ができる

《配布資料》

- ① 企画書(学校・指導者宛)
- ② アンケート協力への依頼書
- ③ 青年部紹介パンフレット

《配布方法》

- ・指導者一人一人に必要な数を確認し印刷して郵送
- ・②は学校・裏千家指導者・学生及び生徒(保護者)それぞれに合わせて3パターン作成
- ・学校によっては指導者からではなく直接郵送での対応

《実施スケジュール》

令和3年10月 幹事長に相談し承諾を得る



資料作成に入る

12月 総本部に企画内容・作成した資料を添付したメールを送り、実施許可を得る



幹事会にて、支部役員の先生方の承認を得る
学校茶道連絡協議会に承認を得る

令和4年 1月 企画書・依頼文の配布(郵送)開始

3月末 アンケートを締め切る

4月 青年部総会で中間報告

6月 最終報告書を作成し総本部へ提出

青年部役員内で結果をもとにコラボ企画を検討

8月 学校茶道連絡協議会夏季研修会において

結果報告と今後の計画について説明

(感染症拡大で研修が中止となり、資料配布に変更)

実施するにあたり、総本部に承認してもらう様
幹事長より指示を受け総本部に確認

学校茶道連絡協議会役員
の先生方にお電話にて連絡
をとり、必要数を確認後に
郵送

学校茶道連絡協議会役員
の先生方が役員以外の指導に
携わる先生方に趣旨説明・配
布などご尽力くださいました

幹事会、学校茶道連絡協議会総会において、アンケート実施について、説明させていただいたところ、先生方から快く承認。

「私たちが実施すべきこと」「よく思いついたわね」などのお声かけをいただきました。

コロナ禍で部活動が休止となり、アンケートが実施できていないと連絡をいただき、当初2月末締め切りの予定を3月末まで延ばしてほしいとの依頼もあり、大変ご尽力頂きました。

このアンケートを通して先生方との交流ができ、青年部としてもとてもありがたいことでした。

《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。
本用紙は追加可能です。

《アンケート内容》

4/5

【10の大項目と小項目合わせて16問 無記名回答】

- ① 住んでいる地域・学年を選択
- ② 茶道を始めたきっかけについて
- ③ 茶道は好き？どんなところが好き？好きじゃないところは？
- ④ 学校卒業後も茶道を続けていきたい？その理由は？
- ⑤ 裏千家には青年部があることを知っている？
- ⑥ 青年部活動に興味があるものがある？（選択肢あり）
- ⑦ 青年部に入会してみたい？青年部ネット会員に登録してみたい？
- ⑧ 「文化力応援企業（団体）登録制度」を知ってる？
- ⑨ 今後茶道を通してやってみたいことがある？
- ⑩ 青年部への質問や意見

【工夫した点】

- ◎ スマホでも簡単に回答できるようにQRコードを依頼書に掲載
- ◎ 選択回答を多く作成し7～10分程度で回答できるようにした
- ◎ 本年度から進められている「青年部ネット会員」や「文化力応援企業（団体）登録制度」についてもふれ、いろいろな活動や支援があることを知らせてもらえるようにした

《作成したWebアンケート》

総本部も活用を進めているGoogleworkspaceのForm機能を使いアンケートを作成
集計まで自動で行なうため作業効率がよかった

茶道についての意識調査アンケート

学校茶道で学ばれている皆様の率直なご意見をお聞かせ下さい。
なお、このアンケートにより個人の情報が特定されることはありません。

1.1 お住いの地域を教えてください。*

- 宮崎（宮崎市・高岡・綾町・国富町）
- 都城（都城市・三股町）
- 小林（小林市・えびの市・高瀬町）

6. 宮崎青年部が今までに行なった活動内容をいくつか挙げています。気になるものがありますか？（複数選択可）

- お茶会（企画・運営から青年部で行いおもてなしする）
- イベントやお祭り会場での呈茶
- 茶道体験教室の開催（イベントなどの体験として）
- 和菓子作り
- 灰形づくりの勉強会

《アンケートの回答》

アンケート依頼書配布数	約160枚
回答数	60件（中学生1名・高校生53名・大学生6名）
回答率	38%

《アンケート結果からの考察》

- ① 茶道が好きとの回答が80%だが、卒業後も続けるとの回答者は13%と少なく、続けない理由として続ける環境がない、続け方がわからないとの回答が31%に達している
- ② **青年部の存在を知っていたのは3.3%（2名）とほとんど知られていない。**だが、アンケート内にあった青年部の活動内容を見て、**25%（15名）が入会してみたいと答えている**
- ③ 「文化力応援企業（団体）登録制度」については知っていたのは1名のみ
- ④ やってみたいことは、多い順に
①和菓子づくり ②茶会・茶事 ③茶道をしている人との交流や異文化交流 など
- ⑤ 今回、年内にコラボ企画ができないかと年始めからアンケートを実施したが、部活動としては3年生がすでに引退している・学校としても多忙な時期であった
また、コロナ禍により部活動が行われていない学校も多く、回答率が38%と低かった

《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。

本用紙は追加可能です。

《アンケート結果を受けて今後の活動計画》

5/5

①卒業後も茶道を学びたい、また青年部活動に興味を持っている者も多くいることが分かった
また青年部のことを知らない学生がほとんどであることから、私たち青年部ががもっとPR、
アプローチを試みれば、新入会員の拡大の可能性はある。

⇒ **学校茶道の先生方を通して青年部の広報活動、アプローチを定期的に行う**

②興味を持っている和菓子作り、茶会・茶事、異文化交流などどれも青年部での企画実行が
可能なもの ⇒ **地元の菓子店と和菓子作り講座（オンライン）をコラボ企画として検討中**

③アンケート実施によりわかることも多く、青年部の広報活動にもなる

⇒ **実施時期を5月～11月とし、定期的かつ長期的に実施し連携活動に活かす**

《今後の課題》

アンケートはウェブ形式で行い集計作業などの簡素化が図れたが、資料については先生方に必要数
を確認し、印刷したものを配布（郵送）する形となり、必要数の把握にも時間がかかり、印刷物を送る
郵送代金などの経費が発生した。

このような形での実施となった理由としては

①学校茶道と青年部と部署が異なることからデータから印刷する経費が学校茶道（先生方）に
発生してしまう

②先生方の多くがメール、添付ファイルでのデータのやり取りなどのデジタル対応が難しい場合がある

以上の点をクリアにできれば、このアンケートの実施はとてもスムーズ・低予算での実施が可能
次年度に向けて

①に関しては学校茶道連絡協議会の先生方と検討したい

②オンライン（Zoom）の使用法の講座を青年部で企画したのと同様に資料やマニュアル
の作成を検討

今後も継続してアンケートやコラボ企画を実施できる体制を構築していきたい。

《アンケートの実施を通して》

このアンケートの実施は先生方一人一人にお電話をして必要数をお聞きする必要があった
ため、アンケートの実施に至るまでに時間と労力を費やしましたが、先生方はとても好意的にご支
持・ご協力くださり、励ましのお言葉もたくさん頂き大変有難かったです。

そして、何より今まで交流のなかった先生方ともお話しする機会ができたことで、**青年部の活動を
知ってもらうことができたことは大きな収穫**でした。

令和6年に宮崎支部・宮崎青年部は周年行事を行います。

この行事では宮崎青年部は学校茶道と一緒に茶席を持つことが決定しています。

コロナ禍で、先生方との交流の場がもてなかった今期ですが、このアンケートを行なったことで、青
年部の活動、役員である私のことを知ってくださっている先生方がいる状態で合同茶席の話し合いに
臨むことができ、今後の活動もスムーズにできるのではないかと考えます。実際に周年茶会に向けて
学校茶道連絡協議会の総務担当の先生との打合わせも始めました。

周年行事までに学生・生徒とも合同での行事を行い、交流を深めていきたいと思っています。

今回は実施までの時間も短ったため、私が主導で行なったこのアンケートですが、今後は宮崎青年
部の継続事業とし、より多くの先生方・学校茶道との交流を深め、学校茶道での学び終了後にも茶道
を続ける学生・生徒の増加や青年部の会員拡大につながっていくよう活動していきたいと思ひます。